

2023年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	11901	科名	服飾研究科	単位	21単位
科目コード		科目名	服装造形	授業期間	通年

担当教員(代表)：吉田 真理子

共同担当者：重川 かおり

概要

- ・衣服製作の基本的な専門知識を学び、各アイテムの基本から応用まで製作の理論とテクニックを短期間で学ぶ。流行や市場調査から各自コンセプトを設定し、製作するアイテムのデザイン発想のプロセスを体験する。
- ・立体裁断の意味・知識を理解させ、基本アイテムのドレーピングテクニックと手順を実技演習により習得させる。

服装造形 論	4単位	
服装造形 デザイン	2単位	
服装造形 パターンメイキング	4単位	
服装造形 ソーイング	8単位	
服装造形 ドレーピング	3単位	
1. 服装造形の基礎	11コマ(前期)	概説・用具・採寸・手縫い・ミシン縫い・ロックミシン縫い
2. パターン製作の基礎	9コマ(前期)	文化式成人女子原型・パターン操作法
3. 体型研究	11コマ(前期)	体型研究・シルエット撮影
4. スカート	20コマ(前期)	実物製作・レポート製作・着装発表会
5. 立体裁断基礎	17コマ(前期)	スカート各種・胸ぐせダーツバリエーション(文化ヌードボディ使用)
6. パンツ	24コマ(前期)	実物製作・レポート製作・着装発表会
7. ブラウス・シャツ	32コマ(前期)	実物製作・レポート製作・着装発表会
9. ジャケット(スーツ)	60コマ(後期)	実物製作・レポート製作・着装発表会
10. 立体裁断 ブラウス	11コマ(後期)	ブラウス・衿各種(文化ヌードボディ使用)
11. ワンピース	45コマ(後期)	実物製作・レポート製作・着装発表会
12. 立体裁断 ジャケット	12コマ(後期)	三面構成のテーラードジャケット(工業用ボディ使用)
13. 自由研究	47コマ(後期)	実物製作又はレポート製作・プレゼンテーション発表
14. グレーディング	4コマ(後期)	実物製作

評価方法

- ・服装造形 論……S～C・F評価 筆記試験100%
- ・服装造形 デザイン……S～C・F評価 課題90%、授業態度10%
- ・服装造形 パターンメイキング……S～C・F評価 課題90%、授業態度10%
- ・服装造形 ソーイング……S～C・F評価 課題90%、授業態度10%
- ・服装造形 ドレーピング……S～C・F評価 実技試験50%、課題40%、授業態度10%

主要教材図書

文化ファッション大系 服飾造形講座 ①服装造形の基礎 ②スカート・パンツ ③ブラウス・ワンピース
④ジャケット・ベスト アパレル生産講座 ③立体裁断基礎編 ⑤工業パターンメイキング

参考図書 gap COLLECTIONS ((株)ギャップジャパン)

その他資料 実物標本・参考標本・部分標本

授業の特徴と担当教員紹介 服作りの基礎から応用までを1年間で学ぶ

記載者氏名 吉田 真理子

2023年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	FE1	科名	服飾研究科	単位	2単位
科目コード		科目名	服飾デザイン論	授業期間	2023/4/10~2024/1/29

担当教員(代表) : 布施伊織

共同担当者 :

【授業概要、到達目標・レベル設定】

色彩・形態・コンポジションなど服飾デザインの基礎知識を解説するとともに、演習をとおして分析力・構想力の養成につなげることを目標とする。

【授業計画】テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数	テーマ	方法	コマ数
デザインとは(オリエンテーション)	講義	1	形態とコンポジション③分析	講義 プリント演習	2
色彩①色彩の基礎、教材の準備	講義 プリント演習	3	形態とコンポジション④ 色彩・素材との融合	講義 プリント演習	2
色彩②色彩の分類・識別・分析 色の持つイメージについて	講義 プリント演習	2	美術・デザイン史概説	講義	1
色彩③色の見え方	講義 プリント演習	1	デザイナーの PLANNING	講義	1
色彩④カラーコーディネーション	講義 プリント演習	4	コンセプト・テーマの分析 (RESEARCH&PLANNING)	プリント演習	2
形態とコンポジション①点・線・面、 形態	講義 プリント演習	3	エディトリアルデザイン解説・演 習	講義 プリント演習	2
形態とコンポジション②コンポジ ション	講義 プリント演習	1	最終課題制作	実習	3

【評価方法】①

主要教材図書 文化ファッション体系 改訂版・服飾関連専門講座『服飾デザイン論』文化服装学院編

参考図書 『ファッション色彩Ⅰ』『ファッション色彩Ⅱ』(一財)日本ファッション教育振興協会編

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

日本美術・西洋美術の知見を用いて美術・デザインを分析的に見る視点をもとに、デザインの方法論を考察・一般化して学生に届ける。

記載者氏名 布施伊織

2022年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード` FE1	科 名 服飾研究科1年	単 位	2単位
科目コード` 500810	科目名 ファッションデザイン画 I	授業期間	通年

担当教員(代表) : 玉川あかね	共同担当者 :
------------------	---------

概要 (教育目標・レベル設定など 200 字程度) (職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します)
 人体プロポーションと体の動きを理解し、衣服のデザイン・構造を的確に描く技術の育成を第一の目標とする。
 基礎的なドローイングテクニック、各種画材を使用した彩色テクニックの基礎を習得させる中で、学生個々の表現力を伸ばす。

【授業計画】
 テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

I・人体のプロポーション/8頭身(正面・側面)の描き方 (2コマ)
 II. ヌードポーズ/身体の動き、流れを理解する(支脚・遊脚の関係の理解) (2コマ)
 *ベーシックポーズ(正面、斜め) *手・足・顔の描き方
 III・ポーズと着装/着装表現のプロセスを学ぶ(ヌードポーズ—服のフォルム—構造、デザイン) (4コマ)
 *ベーシックドレス、シャツ、スカート、パンツ、スーツなど
 IV・アウトライン/ドローイング線の描き方を練習 (グラフィックペン、筆ペン、色鉛筆) (1コマ)
 下絵から画用紙へのトレース方法
 V・製品図/衣服を明確な線図として描く(各種アイテム) (2コマ)
 VI・彩色練習/水彩絵の具、マーカーの彩色基礎練習 (4コマ)
 VII・素材表現/各種画材を使用したドローイング、彩色技法 (6コマ)
 *薄地素材、厚地素材
 *連続模様(プリント柄、織柄など)
 *透け感、光沢感、ニット、毛皮など
 VIII・修了制作/創作デザインと表現力の強化 (5コマ)
 *校内ファッション画展にむけての作品制作
 IX・早描き練/短時間に描き上げるコツをつかむ (2コマ)

評価方法・対象・比重
 授業課題作品及び実技試験で評価。 期限後の提出作品は減点とする
 S~C・F評価 学業評価・・・80% 授業姿勢・・・20%

主要教材図書 文化ファッション大系 改訂版・服飾関連専門講座⑤『ファッションデザイン画』
 参考図書
 その他資料 参考資料プリント、オンデマンド資料

記載者氏名 玉川あかね

2023年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科名 服飾研究科	単 位	2単位
科目コード	科目名 西洋服装史 I	授業期間	半期（前期）

担当教員(代表)：朝日 真

共同担当者：

【授業概要、到達目標・レベル設定】

古代から近世 18 世紀までは、その時代背景を踏まえ美術史や映画によって服飾を解説していく。19 世紀近代以降は、パリオートクチュール・ビジネスが確立し、ファッションが産業化していく過程を解説する。20 世紀以降、デザイナーの時代が始まり、合わせてデザイン史、音楽史、映画史などにも触れながら、多方面からファッション史の理解を深める。

【授業計画】

コマ	内 容	コマ	内 容
1	オリエンテーション	16	
2	古代の服飾	17	
3	中世の服飾	18	
4	ルネサンスとバロックの服飾①	19	
5	バロックの服飾②ロココの服飾①	20	
6	ロココの服飾②	21	
7	第一帝政、王政復古時代の服飾	22	
8	第二帝政時代の服飾	23	
9	第三共和制時代から 1900 年代のファッション	24	
10	1910 年代～1920 年代のファッション	25	
11	1930 年代～1940 年代のファッション	26	
12	1950 年代～1960 年代のファッション	27	
13	1970 年代～1980 年代のファッション	28	
14	1990 年代～2000 年代のファッション	29	
15		30	

【評価方法】

レポート提出 (50%)、出欠と授業態度 (50%)

主要教材図書

文化ファッション大系「西洋服装史」

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

学生がデザイン発想するために役立つ授業展開を心がけている。メンズとストリートファッションを専門とする。

記載者氏名 朝日 真

2023年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	FE1	科名	服飾研究科	単位	1単位
科目コード	400300	科目名	服装解剖学	授業期間	半期（後期）

担当教員(代表) : 足立 美智子	共同担当者 :
-------------------	---------

【授業概要、到達目標・レベル設定】
 解剖学的な人体の構造を衣服パターンと関連づけながら理解させ、美的で機能的な衣服製作に必要な人体に関する基礎知識を学習させる。 人体を外観から観察し、形態やプロポーションを認識する方法を学ばせる。

【授業計画】 テーマ(大・中・小項目)、方法(講義・演習・実験・リサーチ・グループ活動など)、製作物、テーマ別所要コマ数、他科目との関連性、使用パソコンソフト名・ボディ種類、見学先

テーマ	方法	コマ数
オリエンテーション・服装解剖学とは（衣服製作の為に必要な人体の構造）	講義	1
人体のプロポーションについて	講義	1
人体の構成と衣服「全身骨格」	講義	1
人体の構成と衣服「頭骨」	講義	1
人体の構成と衣服「脊柱」 1・2	講義	2
人体の構成と衣服「胸郭」	講義	1
人体の構成と衣服「乳房」	講義	1
人体の構成と衣服「上肢帯」 1	講義	1
人体の構成と衣服「上肢帯」 2	講義	1
人体の構成と衣服「自由上肢骨」	講義	1
機能性がある衣服（上肢の運動と衣服）	講義	1
人体の構成と衣服「下肢帯」	講義	1
人体の構成と衣服「自由下肢骨」・機能性がある衣服（下肢の運動と衣服）	講義	1

【評価方法】
 服装解剖学ノート（50%）・原型プリント（25%）・小テスト（25%）・出席

主要教材図書	服装解剖学ノート
参考図書	分担解剖学（骨学）
その他資料	骨格標本・衣服標本・各種計測器

授業の特徴と担当教員紹介 担当教員：足立 美智子 服装解剖学担当教員と文化・服装形態機能研究所主任研究員を兼務。衣服制作に必要な人体の構造や機能とパターンなどを関連付けた授業を実施。研究所では衣服製作に必要な計測データの蓄積からボディ開発、外部企業や他大学との共同研究開発、障がい者衣料の研究などを行っている。

記載者氏名 足立 美智子

2023年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	FE1	科名	服飾研究科	単位	1単位
科目コード		科目名	アパレル素材論Ⅰ	授業期間	半期（前期、15コマ）

担当教員(代表)：山田とし子	共同担当者：
----------------	--------

概要（教育目標・レベル設定など 200 字程度）（職業実践専門課程認定要件に基づきHP上で公開します）
 アパレル素材（繊維・糸・布地・染色、加工）の種類と性質の基本を習得させ応用展開が図れること
 また、洞察力を養わせることを教育目標とする。

1. 概論（1 コマ） <講義>
 ・布の成り立ち、繊維―糸―布のかかわりと特徴
2. 繊維（3 コマ） <講義、実習>
 ・繊維とは
 ・繊維の種類と分類、成分と構造、性質
 ・繊維と繊維長 *実習 ・繊維の鑑別（呈色法ほか）
3. 糸（4 コマ） <講義、実習>
 ・繊維から糸製造
 ・糸の種類と構造、性質 *実習 ・糸の構造（紡績糸とフィラメント糸）
 （単糸、双糸ほか）（ファンシーヤーン）
 ・撚り数（甘撚糸～強撚糸）と布地
 ・毛紡績の分類（梳毛と紡毛）
 ・PU コアヤーンの展開ほか
4. 布地（4 コマ） <講義、実習>
 ・織物、編地、レースなどの種類と性質 *実習 ・織、編の分類
 ・繊維別布地解説 ・織組織の理解（三原組織ほか）
 ・先染め、後染めの種類と効果 ・先染と後染の区別と色柄効果
 ・風合い表現 ・編組織の種類と特徴
5. 加工（1 コマ） <講義>
 ・加工の目的と種類
6. 品質（2 コマ） <講義、実習>
 ・品質と品質表示、品質検査と判定、基準 *実習 ・染色堅牢度実験と判定（級）
 ・事故品とクレーム ・防縮加工と寸法変化率（%）
 ・シームパッカリング、縫い目滑脱などの判定

評価方法：試験と課題を主評価、授業状況を加減対象とする。

授業の特徴と担当教員紹介
 授業はアパレル素材の種類と性質を系統立てて解説、実習なども含め理解につなげる。
 担当教員は大学において素材の専門分野である材料学を専攻し学位を取得。学会等に参加。機屋や様々な工場見学および産地に出向き現状を視察。また、海外への視野も広げる。

主要教材図書：文化ファッション大系改訂版・服飾関連専門講座③「アパレル素材論」文化服装学院編文化出版局

参考図書：「ワークブッカーアパレル素材論Ⅰ」文化服装学院教科書出版部

その他資料：「テキスタイルファブリック」文化学園事業局

記載者氏名 山田とし子

2023年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード` FE1	科 名 服飾研究科	単 位	1 単位
科目コード` 91030	科目名 服飾手芸 (選択)	授業期間	後期 (半期)

担当教員(代表) : 毎熊舞	共同担当者 : 久保田桂子
----------------	---------------

【授業概要、到達目標・レベル設定】

服飾手芸全般における装飾技法の基礎知識及び技術を身に付け、様々な素材の扱い方からテクニック・色・技術の組み合わせによってクリエイティブな力を養うことを目標とする。

【授業計画】

1. 手芸一般知識 (0.5)

手芸の変遷や技術の種類などを理解させる

2. レース表現 マクラメレース 基礎作品1点制作 (1.5)

結び表現のみで効果を出すマクラメレースの基礎テクニックを理解し、応用発展できるようにする

3. 装飾造形表現 ネックレス製作 作品1点制作 (2)

様々なパーツと糸のみで透かし模様を表現するテクニックと基本的な金具の使用方法を習得させる

4. 加飾美表現 エンブroidアリー基礎 基礎刺し1点 (5)

エンブroidアリーの基礎テクニックを習得させる

5. レリーフ・ライク表現 スモッキング・ピンキング・シャーリング 基礎刺し製作2点 (2)

一枚の布を縫い縮めて変化させて装飾効果を表現するテクニックを習得させる

6. 装飾造形表現 アートフラワー 作品製作2点 (3)

アートフラワーの基本的な知識を用いて服のデザインポイントになる装飾効果とテクニックを習得させる。

【評価方法】

S～C・F評価

評価基準：学業評価80% 授業姿勢20%

主要教材図書

教科書：文化ファッション大系 服飾関連専門講座⑧手芸 文化服装学院編 文化出版局

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介

本校を卒業した服の知識や制作過程を理解した教員による服飾に特化した装飾手芸技術の歴史、知識および技術の習得を行います。

記載者氏名 久保田桂子

2023年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科名 服飾研究科	単位	1単位
科目コード	科目名 CAD基礎（選択）	授業期間	後期

担当教員(代表)：井戸川 倫也	共同担当者：
-----------------	--------

科目概要
 アパレル産業における設計プロセスを認識し、アパレルCADを利用した設計方法を身につけることを目標とする。平面作図に始まり、パターン展開、マーキングと流れ、作成したデータを活用しレポート作成をおこなう。多数のコマンドで構成されるCADシステムの中から、最小限の機能を活用し、最大の効果が得られる基礎的なレベル設定とする。
 受講条件は、服飾専攻科 技術専攻とオートクチュール専攻の進学希望者以外とする。

【授業概要】

I. ガイダンス (1コマ)

II. CAD基本操作 (5コマ)

- ① 原型作図 (直線作成、曲線作成、移動、コピー、不要線の削除 等)
- ② スカート (タイトスカート→フレアスカート) (線の引き直し、切り開き、地の目作成 等)

III. CAD応用操作 (2コマ)

- ① シャツのパターンメイキング
- ② 衿、袖、カフス、短冊の作図

IV. 工業用パターン作成 (1コマ)

- ① シャツの工業用パターンメイキング (パーツ化、縫い代つけ、パーツ情報の設定 等)

V. 理解度の確認 (2コマ)

- ① 操作の復習
- ② 理解度確認小試験

VI. 試験解答とマーキング・パターントレース (2コマ)

- ① 小試験の解答と説明
- ② マーカーの概要
- ③ スキャナーとトレース

VII. 3DCAD (1コマ)

- ① 3DCAD基礎オペレーション
- ② 3DCADデータ作成

評価方法・対象・比重
 出欠席 (40%) + 提出データ (30%) + 小試験<実技> (30%)

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 適宜プリント配布

授業の特徴と担当教員紹介
 アパレルCADの基礎オペレーションが体得できる。担当教員は文化服装学院専任講師。

記載者氏名 井戸川 倫也

2023年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	11901	科名	服飾研究科	単位	1 単位
科目コード	801	科目名	特別講義	授業期間	通年

担当教員(代表) : 吉田 真理子

共同担当者 : 重川 かおり

概要

就職に関する講義や広い視野におけるファッション産業界の知識、また服装造形分野での特殊素材に関する知識や製作技術などを、それぞれの専門分野の講師による解説・指導により将来に役立てる。

- | | | |
|-------------------|----------|----------------------|
| 1. 体型について | 1コマ (前期) | シルエット写真のみかた |
| 2. ファッション業界の仕事 | 1コマ (前期) | 編集の仕事について |
| 3. ファッション業界の仕事 | 1コマ (前期) | パタンナー、デザイナーの仕事 |
| 4. 研修旅行予備講話 | 1コマ (前期) | 研修旅行の予備知識として |
| 5. ファッション業界の仕事 | 2コマ (前期) | ファッション業界の仕事・パタンナーの仕事 |
| 6. 裏地の知識 | 1コマ (前期) | ベンベルグ裏地について |
| 7. ファッション情報 | 1コマ (前期) | トレンド解説 パリ・ミラノ・東京 |
| 8. 生産管理概論 | 3コマ (後期) | |
| 9. ファッションビジネスについて | 1コマ (後期) | |
| 10. デザイナーの仕事 | 1コマ (後期) | 仕事内容・実務の解説 |
| 11. ファッション情報 | 1コマ (後期) | トレンド解説 パリ・ミラノ・東京 |
| 12. ニットの一般知識 | 1コマ (後期) | ニットの商品知識 |

評価方法

履修認定 評価基準: 出欠状況、学業姿勢、レポート

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 プリント

授業の特徴と担当教員紹介

それぞれの専門分野の講師による解説・指導により将来に役立てられる内容を組み立てている。

記載者氏名 吉田 真理子

2023年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	11901	科名	服飾研究科	単位	1単位
科目コード	802	科目名	校外研修 I	授業期間	通年

担当教員(代表)： 吉田 真理子

共同担当者： 重川 かおり

概要

文化的な知識・教養および感性を高めるために、古美術研修旅行、美術展見学・伝統芸能鑑賞などによって視野を広め、またクラス内の親睦・融和と人間性を高める。

1. 舞台衣裳見学

2. 歌舞伎鑑賞

3. 研修旅行 (京都・奈良 2泊3日)

1日目 東京—名古屋—テキスタイルマテリアルセンター—工場見学—ホテル・(奈良)

2日目 ホテル—法隆寺・中宮寺—奈良公園—浄瑠璃寺—ホテル(京都)

3日目 ホテル—伏見稲荷大社—東寺—京都市内—東京

※見学場所は受け入れ状況により変更あり

評価方法

履修認定 評価基準：出欠状況

主要教材図書 なし

参考図書 なし

その他資料 プリント・パンフレット

授業の特徴と担当教員紹介

- ・舞台衣裳見学を通して舞台衣裳に関する見聞を深める。
- ・歌舞伎や能を鑑賞し伝統芸能を学ぶ。
- ・研修旅行にて仏像を中心とした芸術や織物工場見学などを通して視野を広める。

記載者氏名 吉田 真理子

2023年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード	科名 服飾研究科	単 位	1 単位
科目コード	科目名 コラボレーション a (自由選択)	授業期間	通年

担当教員(代表)： 吉田 真理子

共同担当者：重川 かおり

【科目概要、到達目標・レベル設定】

コラボレーションを通して、企業との連携を深め、社会貢献することを学ぶ。

【授業計画】

その年度の実施内容による。

評価方法

履修認定・・・P評価

評価基準・・・学業姿勢・出欠状況を基に、履修認定の是非を決定する

主要教材図書

参考図書

その他資料

授業の特徴と担当教員紹介 その年度の実施内容により決定する。

記載者氏名 吉田 真理子

2023年度 カリキュラム科目概要

文化服装学院教務部

科コード 11901	科名 服飾研究科	単位	5 単位
科目コード 901	科目名 卒業研究・創作	授業期間	後期

担当教員(代表) : 吉田 真理子

共同担当者 : 重川 かおり

概要

- ・一年間で習得した知識・技術の集大成として、フォーマルウェアからニューフォーマルウェアまで個性を活かした作品を製作させる。併せてTPOをふまえたコーディネートも研究させる。

卒業制作 70コマ (後期) 実物製作・レポート製作・卒業制作ショー (準備も含む)

評価方法

S~C・F評価 評価基準 : 学業評価90%、授業姿勢10%

主要教材図書

文化ファッション大系 服飾造形講座 ⑥服飾造形応用編 I (高級素材)

参考図書 gap COLLECTIONS ((株)ギャップジャパン)

その他資料 実物標本・参考標本・部分標本

授業の特徴と担当教員紹介

1年間の集大成としてフォーマルウェアを製作し、トータルコーディネートを考案ショーを行う。

記載者氏名 吉田 真理子